

## 北海道経済 成長戦略を

早いもので、札幌に赴任してから4か月が過ぎた。この間、早く北海道のことを知ろうと時間の許す限り各地を回った。そこで、自然の雄大さと素晴らしさ、第一次産品のおいしさ、そして何よりも北海道の皆さんの温かさ、優しさに触れ、あらためて赴任できたことの喜びを実感した。

ただ、北海道の景気は、東日本大震災後の大幅な落ち込みからは持ち直しているが、公共工事の大幅減少や経済をリードする産業の集積不足から、2000年以降は、常に全国に比べて厳しい状況が続いている。

北海道経済浮揚のための各論については、さまざま語られている。私の知る限りでも、食と観光の強化、新幹線の札幌延伸、首都圏機能のバックアップ拠点化、自然エネルギーの供給基地化等々である。ただ、そこで残念に感じるのは、各論を有機的に組み合わせ全体としてパッケージ化した成長戦略が見当たらないことである。

北海道には、恵まれた観光資源や第一次産品が豊富にあるが、そこに「あぐら」をかいていないか。食品加工業の付加価値向上や観光産業の構造改革に、どれほど真剣に取り組んでいるのだろうか。新たなリーディング産業を、どのように育成・集積していくのか。大震災を機に、国にどのような貢献が出来るのかといった視点も加味しつつ、北海道としての明確なビジョン、成長戦略を早急に取りまとめ、道民一丸となって、速やかに取り組んでいく必要があるのではなからうか。

（日銀札幌支店長）